

まごころだより

2020年 4月号

コロナウイルス感染症の報道がなされてから3か月になろうとしています。いまだ収束の兆しが無く、現在では地球規模にまで拡大を見せている。1月の時点では得体の知れないウイルスとしての恐怖感があったにしろ、これほどまでに広がりを見せるとは、どれだけの人達が想像していたでしょうか。自国の発展に力をそそいできた全世界のリーダー達は、迫りくるウイルスの脅威に翻弄されています。人々は毎日報道されるウイルス関連の情報で、基本はとにかく感染しないように人が沢山集まる場所を避けたり、マスク着用や手の触れそうなどの消毒、手洗いなどを繰り返し注意しています。しかし、人によって自分が他者に感染させてはいけないと行動を自粛する人、わかってはいるけれど多分大丈夫だろうからいいだろう、と思う人と危機感に大きな差があるのも現状です。毎日の報道で海外のひどい情勢を対岸の火事とたかをくくっていると、いつか自分の生活や関わりのある大事な人に影響が及んだ時に深く後悔をすることになります。

感染予防のそれが出来る人はまだしも、子供や介護を必要とする高齢者や障がい者は、誰かの助けが絶対に必要な人です。手助けするにしても家族には仕事があり、介護をする人には今まで以上の十分な支援が求められます。コロナウイルスにうつらない、そしてうつさないように細心の注意が必要になり、弱い立場の人にとっては辛い日々が何時まで続くのか、精神的にも息の詰まるようなことになっています。この先どのような展開になるのか分かりませんが、早く終息してすべての人達が普段通りの安心できる暮らしができるように、私たち一人一人が予防に真剣に取り組んでいかなければならないと思うのです。



久しぶりのドライブで



初めての抹茶で思わず！

4月の行事の中止のお知らせ

いつもまごころの行事にご参加いただきありがとうございます。

いまだに新型コロナウイルス感染症は収束の兆しさえも見せていません。富山県においては、しばらく感染者がいませんでしたが、3月末にとうとう発生してしまいました。前月は行事中止を心苦しくお伝えしましたところですが、引き続き4月も感染拡大を予防するために、全行事を中止したいと思います。再開の見通しが立ち次第改めてお知らせいたしますので、ご理解のいただきますようよろしくお願い申し上げます。